

インテック

『F3(エフキューブ)』新サービス、北國銀行が採用決定

インテックの金融機関向け情報系ソリューション「F3(エフキューブ)」のモバイル活用プラットフォームサービス「F3(エフキューブ)mobile Shield Center Service」を北國銀行が採用することを決定しました。

このサービスは、「F3(エフキューブ)」CRMシステムの拡張機能で、スマートフォンやタブレット端末を高度なセキュリティ環境で利用するためのプラットフォームサービスです。システムの基盤やデータは、堅牢なデータセンターに配置すること、および端末を遠隔で制御する機能などにより、高度なセキュリティを確保しています。提供開始は、2012年3月を予定しています。このサービスを利用することで、金融機関では個人情報を含むお客さまに関する各種情報を店外で利

用可能となり、これまでお客さまの来店時にしか出来なかった提案活動が実施できるだけでなく、店外でのシステム操作が可能になることで事務処理そのものの省力化を実現できるようになります。

なお、「F3(エフキューブ)」とは、インテックが提供する、金融機関向け総合情報系システムの総称で、CRM(Customer Relationship Management)システム、SFA(Sales Force Automation)システム、コールセンターシステムなどを、業務機能の体系化と業務単位のコンポーネント化で合理的なシステム導入と拡張性を実現しました。インテックは「F3(エフキューブ)」シリーズをすでに90社を超えるの金融機関に提供しております。

お問い合わせ先：株式会社インテック 金融ソリューション事業推進部 TEL:(045)451-2424

ネクスウェイ

ネクスウェイとドリーム・アーツ、多店舗運営支援クラウドサービス『店舗matic』にメール投稿機能を追加

ネクスウェイと株式会社ドリーム・アーツ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:山本孝昭)は、多店舗運営支援クラウドサービス「店舗matic(テンポマティック)」の最新版を発表しました。最新版では「メール投稿機能」を追加し、エリアマネージャーやスーパーバイザーといった、外出が多い本部ユーザからの業務指示や、基幹システムからのデータを容易に「店舗matic」に表示することを可能にし、チェーンストアにおける本部店舗間コミュニケーションをさらに強力にサポートいたします。「店舗matic」の最新版は、2011年5月25日から提供しています。

■基幹システムから各種データを簡単に「店舗matic」へ表示

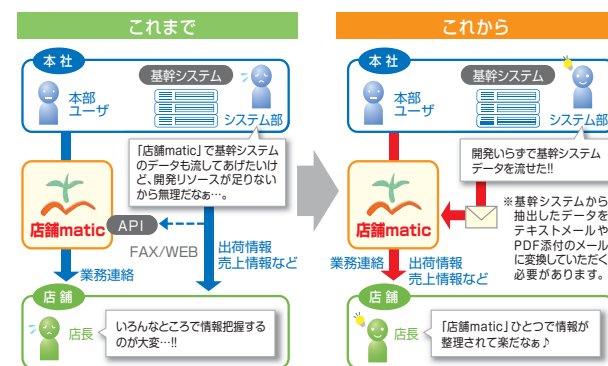
「店舗matic」へのメールでの投稿が可能になったことを受け、「店舗matic」と基幹システムのデータ連携も簡単に行っていただくことが可能になりました。

基幹システムで管理している全店舗の売上データなどを、本部から店舗に対して「店舗matic」上でタイムリーに情報共有し、店舗間の競争意識を向上させ売上アップにつな

げたい、というご要望を多くいただいております。

基幹システムから抽出したデータをテキストやPDF添付でメール発信する環境をご用意いただければ、特別な開発なしに基幹システムの各種データを表示させることが可能となります。

これにより、「店舗matic」による「店舗への情報の一本化」がさらに進み、各種施策の徹底とスピードアップの実現を支援します。



お問い合わせ先：株式会社ネクスウェイ TEL:0120-341890
clp@nexway.co.jp http://4103.jp/

インテック

北国インテックサービス

『e-messe kanazawa 2011』石川県中小企業技術展に参加

北国インテックサービスは、5月に開催された石川県情報システム工業会主催の「e-messe kanazawa」にITホールディングスグループのクオリカ、ソラン北陸と共に出展しました。本年度は「ものづくりを元気にするITソリューション」をテーマに製造業向けに設計および生産管理ソリューションシステムを紹介しました。

また、同時期に開催された石川県中小企業技術展には、石川県工業試験場や金沢大学などと共同研究を進めている「排便検知システム」を出展しました。本システムは、介護現場における認知症の寝たきり高齢者の排便を温度センサーで検知し、速やかに介護者に知らせることにより、介護・被介護者の双方にかかる精神的・肉体的負担を解決することを目的としています。介護のニーズに応えるものとして、来場者の高い関心を集めていました。



お問い合わせ先：北国インテックサービス TEL:(076)266-3000

『クラウドEXPO』、『情報セキュリティEXPO』、『ソフトウェア開発環境展』に出展

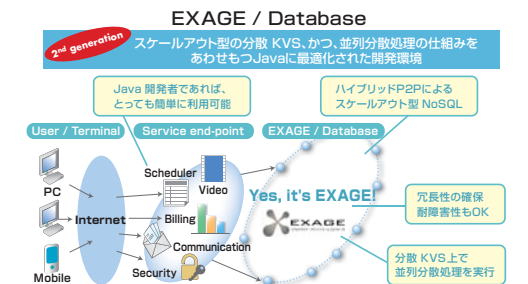
ITホールディングスグループは、5月11日から13日まで東京ビックサイトで開催された各種フェアに出展しました。

インテックは、「Callクレオン」「Callノート」「快速サーチャー」などを出展しました。また、リアルクラウドソフトウェア「EXAGE(エクセージ)」は第2弾「EXAGE/Database(エクセージデータベース)」を発表しました。

これは、昨年12月に使用許諾開始を発表したストレージに続くもので、無限の処理性能を可能にするNOSQL型のJavaアプリケーションの開発と実行の基盤です。

これまでのRDB(データベース)ではなしえなかった巨大件数のデータ処理などを、Key Value Storeの特徴を生かしたうえに、さらに独自に開発したハイブリッドP2P技術で、簡単なプログラミング利用できるようにしています。

11月からのご提供を予定しており、現在無償評価使用のご希望を承っております。



お問い合わせ先：先端技術研究所営業部 TEL:(03)5665-5010 info_cloud@intec.co.jp

インテック

テレコムサービス協会、中尾会長が退任し最高顧問に

社団法人テレコムサービス協会は、同協会の会長であるインテックの中尾哲雄会長が、6月16日付で退任し、最高顧問となることを発表しました。新しい会長は、株式会社ミロク情報サービスの是枝伸彦会長が就任しました。

中尾最高顧問は、平成6年の協会設立以来9年余りにわたり、特別第二種電気通信事業者を代表する副会長として、公専公サービスの実現など規制緩和の推進を企業リーダーの立場で牽引するとともに、平成15年からは会長としてその運営を統括するなど17年にわたり協会活動を推進し、業界、社会の発展に貢献してきました。

この間、電気通信審議会委員として情報通信政策に関する諸政策の立案に多くの助言・提言を行ったほか、プロバイダ責任制限法ガイドライン等検討協議会会長、電気通信サービス向上推進協議会会長、日本インターネットドメイン協議会会長などの要職をつとめ、我が国の健全な情報通信の発展に大きく寄与してきました。

なお、平成17年6月には、情報通信の発展に対する永年の功績により、総務大臣表彰(個人表彰)および平成20年秋(11月)の叙勲で旭日中綬章を受章しました。

インテック

『MCFrame Partner of the Year』
6年連続8回目の受賞

インテックは、東洋ビジネスエンジニアリング株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：石田壽典）より、「MCFrame Partner of the Year 2011」を受賞しました。この賞は、年間を通して最も優秀なビジネスパートナーに贈られるもので、インテックは2006年から6年連続、通算8回目の受賞となりました。

今回の受賞は、2010年度 MCFrame ライセンス売上がビジネスパートナーの中でトップであったこと、さらに海外へ MCFrame 事業を展開した実績などが評価されました。

これからもインテックは、日本の製造業の優位性を維



持する真のソリューションプロバイダとして、国内での業績拡大に加え、昨年12月に設立したインテック上海と東洋ビジネスエンジニアリングの中国現地子会社の協業などを通して、海外へもMCFrameビジネスを力強く推進してまいります。

お問い合わせ先：株式会社インテック I-MCF事業推進部 TEL:(03)5665-9917

インテック

東京本社の節電対策

震災による原発問題に起因する節電対策として、現在東京本社（東京都江東区）では以下を実施しています。

- ・館内空調機の50%の稼働と室内温度28℃設定
- ・エレベーターの利用制限(1基のみの稼働)
- ・事務所内照明の40%以上の間引き
- ・クールビズの早期(4月8日より)実施
- ・ビル内設備機器の省電力設定
- ・サーバ室内のサーバ機器の移設
- ・アクティブディレクトリのポリシーによりPCを省電力モードに設定
- ・給湯器の利用制限
- ・トイレの便座ヒーター、温水の停止
- ・健康診断の実施時期変更

これらの対策により、6月1日付の経済産業省からの「電気事業法第27条による使用最大電力の制限に関する通知書」で通知された15%の削減を達成中です。

インテック 仙台センター所長 大滝義衛

キーポート・ソリューションズ

ITサービスの品質向上とシステム運用管理の効率化
ITサービス管理ソフト『Bit Cruiser Process Management』(ビットクルーザー
プロセスマネジメント)の販売開始

キーポート・ソリューションズはITサービス提供事業者向けに、業務プロセスを管理するソフト「Bit Cruiser Process Management」の販売を5月から開始しました。

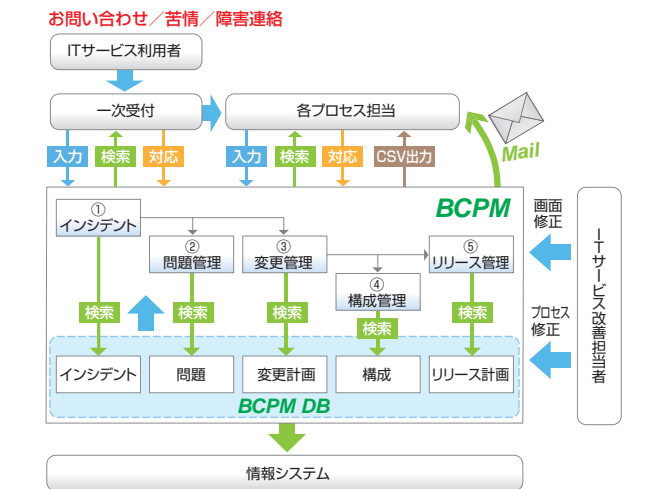
ITサービスにおける5つの業務プロセス管理(インシデント管理・問題管理・変更管理・構成管理・リリース管理)において、要望やクレーム、障害への対応状況を管理します。

各プロセスの情報は内蔵のデータベースで一元管理し、進捗状況を把握したり、過去の類似例を活用した迅速な対応を行ったりすることで、サービスレベルの向上につながります。

本製品はサーバにインストールし、担当者はWebブラウザで利用できるため、管理者の負担が削減できます。また、ISO/IEC20000取得やITIL導入をサポートするテンプレート、ワークフローなどの機能も備えています。今後、クラウド型での提供も予定しています。

■製品イメージ

「Bit Cruiser Process Management」概略図



お問い合わせ先：キーポート・ソリューションズ ITサービスユニット Bit Cruiser担当
TEL:(03)3523-8601 URL <http://www.bitcruiser.jp/>

インテック、インテック上海

販売管理システム『社長の右手』中国へ展開

「社長の右手」は、1996年に発売し、数多くの国内企業にご利用いただいています。「海外拠点の新設・規模拡大に際し、情報・分析機能が充実した「社長の右手」を海外拠点でも使いたい」とのご要望にお応えし、中国対応版を開発しました。「社長の右手」は販売管理業務に必要な様々な機能と財務会計や生産管理など他業務システムとのデータ連携を標準装備しています。Webシステムでありながら、使いやすい画面構成とスムーズな入力、出力したデータを加工して利用できる仕組みなど、使う人の視点に立ったインターフェイスを実現しています。

中国対応版は、大きく三つの特長があります。①ログインユーザごとに中国語と日本語を切り替えられるリアルマルチランゲージ機能②中国政府指定の金税システム(増値税の請求書発行システム)における発票対象データの抽出や発票No.の管理機能③財務会計システムへの仕訳データ連携

販売管理システム

社長の右手

が可能であることです。

「社長の右手」の海外展開は、インテックが2010年12月に設立した中国現地法人インテック上海(英志希信息技术(上海)有限公司)が中心となり、戦略的な営業・プロモーションを展開してまいります。同社が提供するサービスは、進出企業の現地拠点で必要とされる支援サービス全般で、オフィス内のネットワーク構築から、グローバルガバナンスを確保しながらの短期間・低価格でのシステム構築・導入支援、運用保守サービスまでを含んでいます。「社長の右手」は現地日系企業向け販売管理ソリューションの中核商品として位置づけています。

すでに多くの日系企業様より引き合いいただき、今後3年間で華東地区に進出する日系企業中心に20社の受注を目指しています。

お問い合わせ先：株式会社インテック 海外事業部 TEL:(03)5665-5142
北陸地区本部 産業システムサービス部 TEL:(076)444-8010